

平成 24 年 11 月 1 日

平成 24 年度第 1 回鹿児島県大学図書館協議会研修会
「利用しやすく、利用を促進する図書館の取組みを考える」
鹿児島大学附属図書館（中央館）事例

鹿児島大学附属図書館
資料サービス係・宮里

【1】 利用者の学習をサポートするハード面での体制整備（H21-H23）

- グループ学習室の増設、アメニティルームの設置（H22.3 月）
- ギャラリー”アトリウム（H21.3 月）”、大学歴史展示室（H21.10 月）の開設

⇒入館者数の増加

- 入退館システムの導入（H23.6 月）

⇒入館者数の減少（※試験期の入館者数は増加している）

【2】 図書館ホームページのオンラインサービスの充実

- 図書館業務システム更新により利用者（学内者）自らがログインしてオンライン上で予約、取寄、貸出更新できる My Library サービスの導入（H21.3 月）

⇒貸出人数・冊数の増加

【3】 蔵書

- シラバス指定図書 of 整備（H19-）
- 学生希望図書・学生選書ツアー
- 部局選定学生用図書、教員推薦学生用図書、図書館職員選定図書

【4】 利用者への働きかけの強化

- ブックガイド（H22-）

⇒貸出人数・冊数の増加

- イベントの企画・開催
 - ・貴重書展
 - ・オープンキャンパスへの参加（H22-）
 - ・Library lovers'キャンペーン参加（H22-）
 - ・かごしま読書フェス@鹿大開催（H23）
 - ・オープン・アクセスウィークへの参加（H23-）
- 公式キャラクター決定（H24）
- 電子掲示板システムを使った情報発信（H21.3 月-）

【まとめ】

利用の促進へつなげるため、図書館に興味をもってもらえるよう以上のような取組みを行っているが、H24 年現在、入館者数・貸出数が減少傾向にあり、原因・対策について検討している最中である。